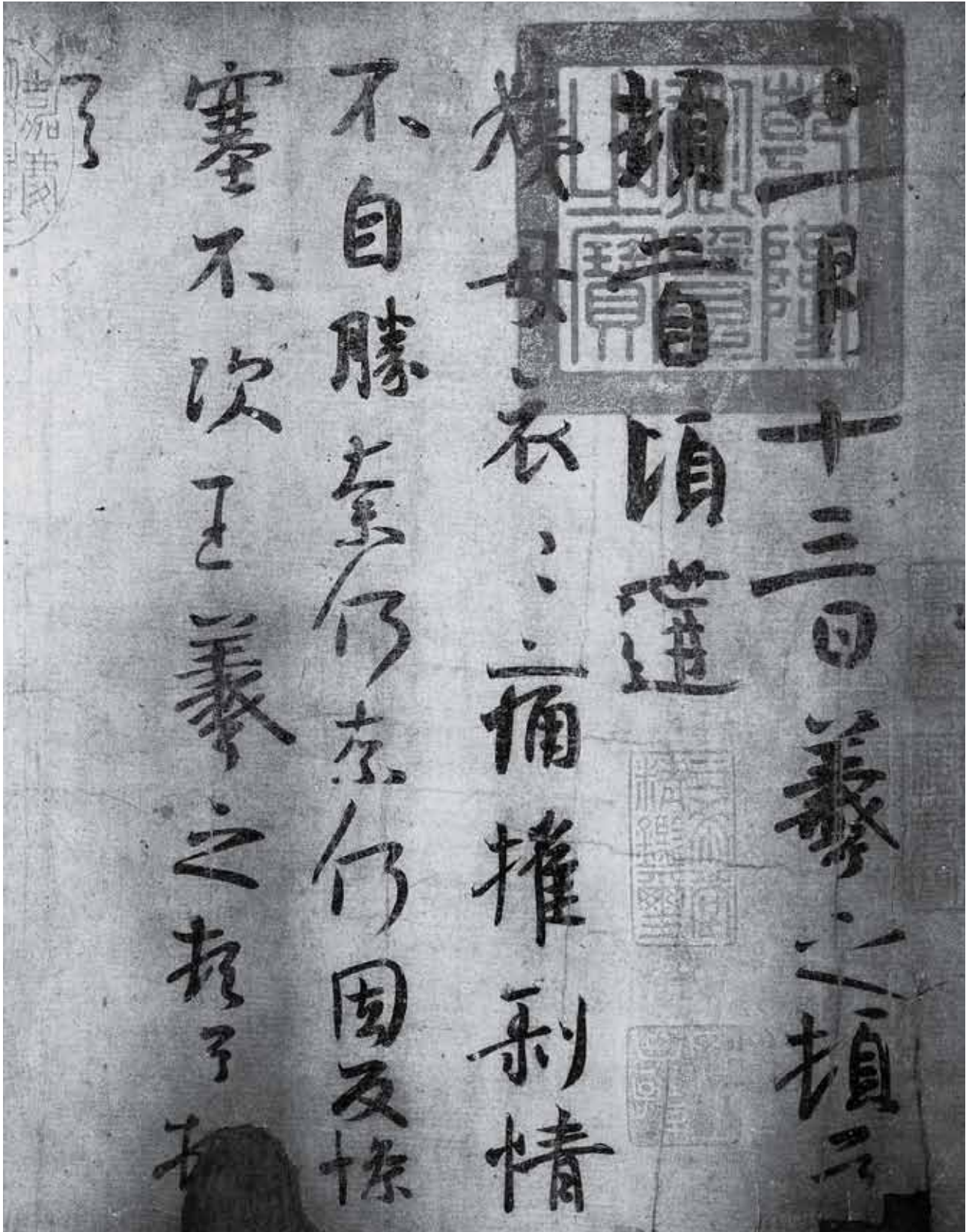


書道

No.484

令和2年 12月号

姨母帖 (王羲之)



十一月十三日。羲之頓首頓首。頃違姨母哀。々痛摧剝。情
十一月十三日、羲之頓首頓首。頃違姨母の哀に遭う。哀痛摧剝し、

不自勝。奈何奈何。因反慘塞。不次。王羲之頓首頓首。
〔情〕自ら勝えず。奈何せん奈何せん。反に因りて慘塞す。不次。王羲之頓首頓首。

李柏尺牘

五月七日西域長史關內侯
來慰勞諸國。此月二日來，到
嚴參事往。不知到未。今

柏頓首。關久不知問。常
海頭。未知王問。邑々天熱。
遣使符太往通消息。

懷思想。不知親相念。
想王國大小平安。王使
書不盡意。李柏頓首。

便見忘也。詔家見遣。
招臣俱共發。從北虜中與

五月十日西域長史關內侯
柏頓首。關久不知問。常
海頭。未知王問。邑々天熱。
遣使符太往通消息。
懷思想。不知親相念。
想王國大小平安。王使
書不盡意。李柏頓首。
便見忘也。詔家見遣。
招臣俱共發。從北虜中與

海東志 點 王 問 色 八 天 熱

想 王 國 六 小 年 果 王 傳

後 百 俱 共 符 後 此 實 也

發 興 事 一 小 知 到 未 今

道 地 為 大 一 通 消 道

事 也 事 二 息 也 子 如 鏡

道 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

李柏尺牘

五月七日、海頭西域長史、關內侯李柏頓首頓首。別來□□恒不去心。今奉台使來西、月二日到（此）海頭。未知王消息、想國中平安。王使迴復羅、從北虜中與敵參事往、想是到也。今遣（相）使符大往相聞、通知消息。書不悉意。李柏頓首頓首。

五月七日
海頭西域長史

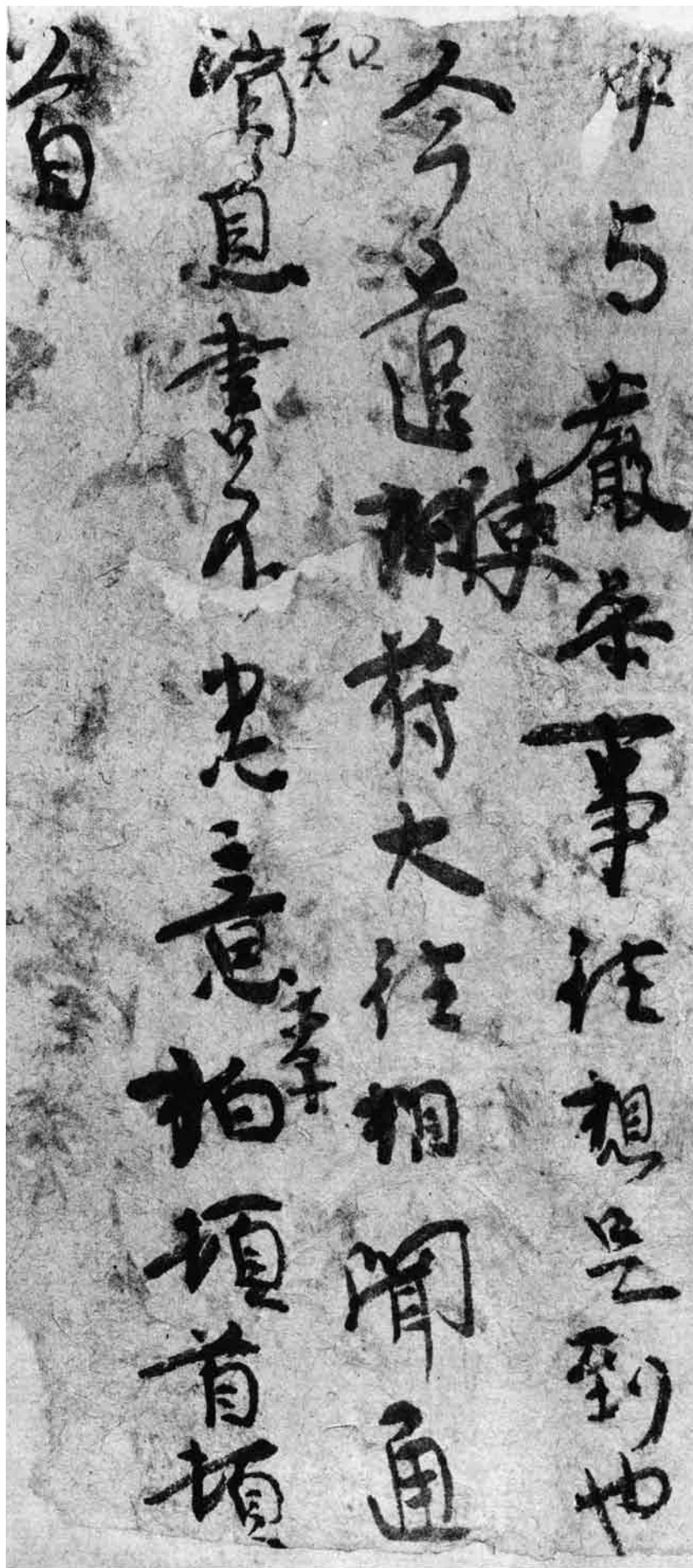
侯身柏頓首頓首

恒不去心今奉
臺使去西月

二日到此未
知王消息想
國中

平安王使迴
復羅從北虜

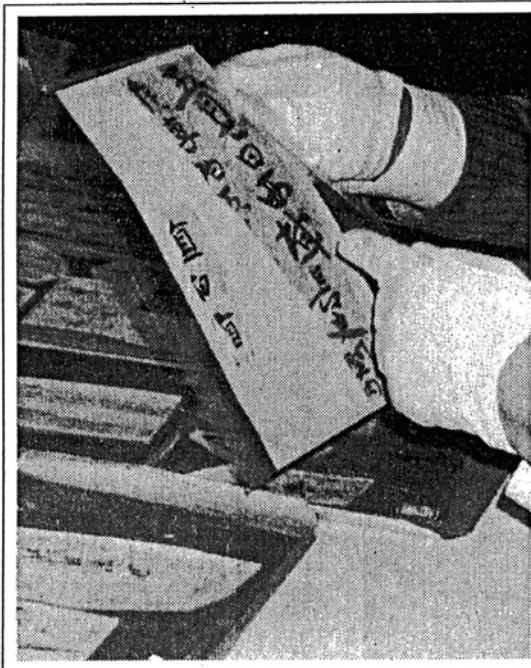
①538B



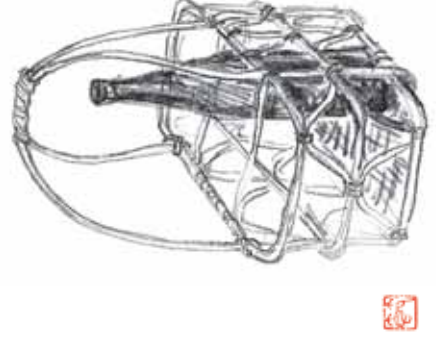
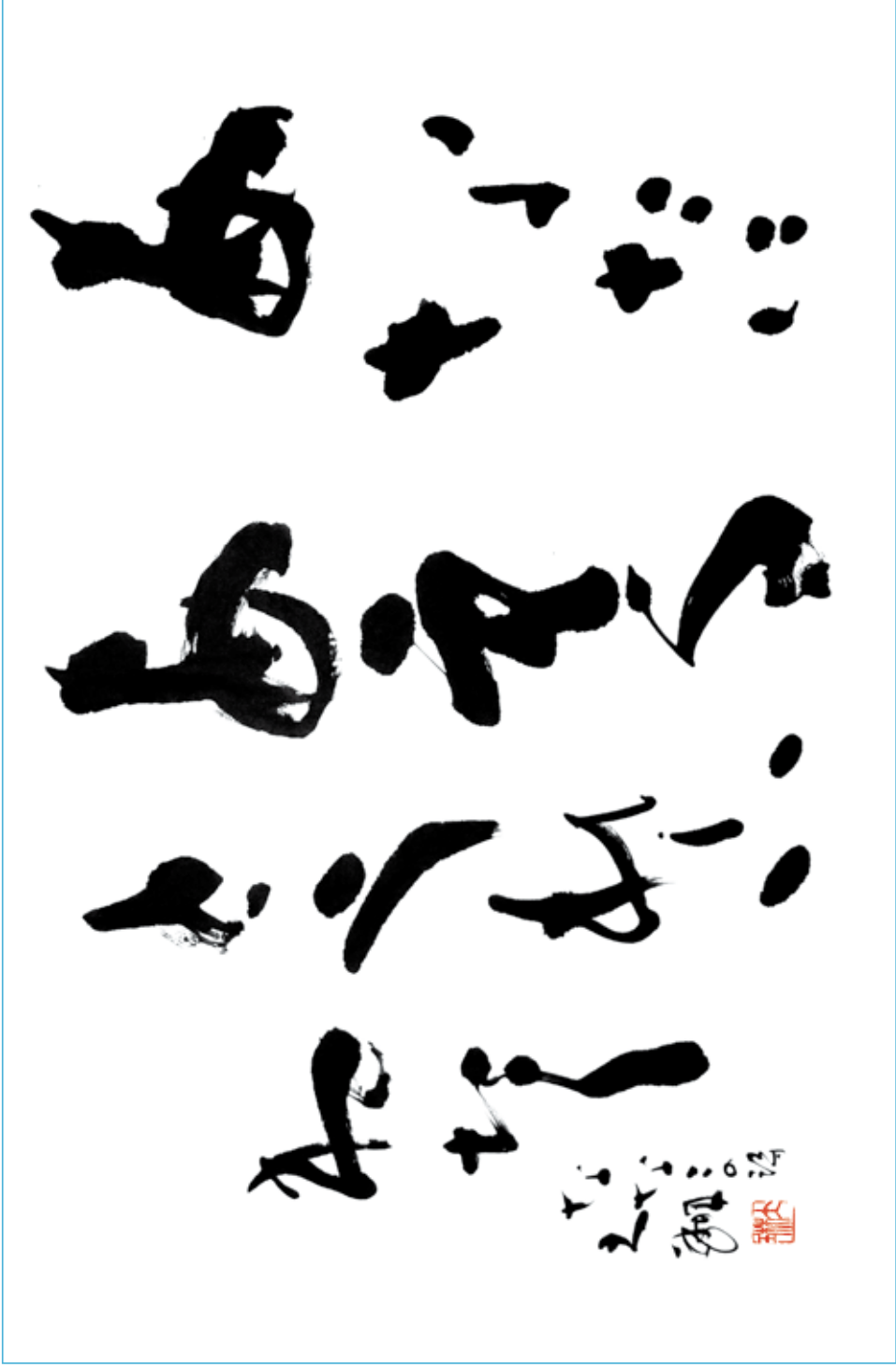
百年前までの中国の人々は、石碑の拓本や明清代の書家が書いたものを見て書を学んでいました。その学習態度に変革を起こしたのが漢晋代の肉筆文書の発見でした。木簡の発見は唐代にもあったようですが、記録をとどめるだけで終わっていました。学問がその後ろ盾とならなかったためです。しかし、二十世紀初頭に確立された学問はこの発見を大変重要なものと周知させたのです。

木簡や残紙は中国への訪古旅行と中国奥地への探検に夢を描いた「オーレル・スタイン（収集品はイギリスの大英博物館に収納）」「スウェン・ヘディン（以前、大分のトキハ会館二階でヘディン展が開催）」「橘瑞超（西本願寺の大谷光瑞が組織した大谷探検隊の隊員。楼蘭などで数多く発見）」の三人の人々らによって発見されました。

大谷探検隊の橘さんが発見した資料を三度ばかり、龍谷大学に行つて見学しました。一九九四年九月三十日には重要文化財に指定されている晋代の李柏尺牘①（写真は部分）のほかに残紙七、八十枚を②のように見学することもできました。胸が震える思いでした。完全な形で残った李柏尺牘の二種類は軸に表装され、あとのものは一つ一つビニール袋に入っていました。墨色は青墨であり濃くなく美しい色でした。とても意外な感じがしました。



② 龍谷大学にての特別見学。一九九四年九月三十日。重要文化財の残紙の資料を一つ一つ見せて下さいました。



あなたに
あえると
うれしい
わたし
ななこの詩

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
6	7	1	2	3	4	5
13	14	8	9	10	11	12
20	21	15	16	17	18	19
27	28	22	23	24	25	26
	29	29	30	31		

2020
12
December